

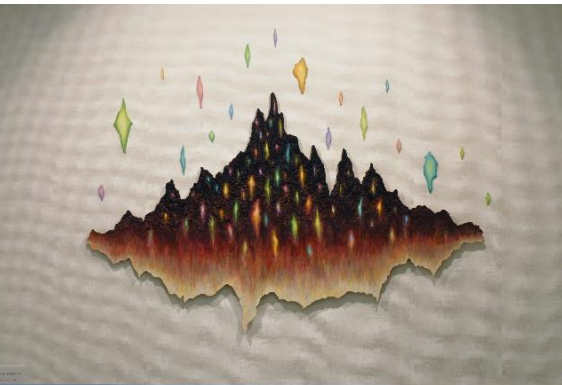
上嶋秀俊展

現代美術家・上嶋秀俊は一過性のインスタレーション（仮設芸術）を手法としながら、自ら探った色と形によって、現実と虚像を織り交ぜた独特の作品を発表しています。

室内の壁全体をキャンパスに見立てたり、屋外の自然環境のなかに半立体のパーツを組み立てたりして、一度きりの展示であっても、美術本来の色が醸し出す感情や形を味わう楽しさを提示しています。自然の持つ力や生命力を表現する意図がありますが、その見方を押し付けず、見る側の自由さを束縛することはありません。

当初は命の根源である水に関心を持ち、寒色に塗られた形の反復により、緩やかなリズムを感じさせる静謐な空間を生み出していました。やがて人間も自然の一部であり、自然環境と心の内を重ね合わせるようになり、日々たくさん色や形をスケッチし蓄積していきました。この間、日常生活で感じた社会の閉塞感や自然災害への無力さが引き金となって、一転して激しい色彩を駆使し、拡散する力と求心力がせめぎ合う、エネルギー的な表現に至っています。

これまでの旺盛な制作活動が評価され、上嶋秀俊は令和4年度「北海道文化奨励賞」を受賞しました。本展は、その受賞を祝し、北海道の現代美術を牽引していく、上嶋秀俊の作品の魅力をご紹介します。



間がなければ光はなかった 2021年



水のもり 2019年

このたび令和4年度北海道文化奨励賞をいただき、とても身に余る思いでいっぱいです。

今後も真摯に制作に向き合い、私たち人間、誰もが持っている自由に感じることで、それを表現できること、その素晴らしさを大切に活動していきたいと思っています。今回小樽美術館にて、このような発表の機会を設けていただき大変感謝しております。

上嶋秀俊



Ueshima Hidetoshi

1966 小樽市出身
1984 北海道小樽潮陵高校卒業
1991 東京造形大学造形学部デザイン学科卒業
現在 小樽市在住
<https://ues.flatfield.info>

【主な個展】

- 2021 個展『いつか見た光のこと』ギャラリーミヤシタ(札幌)
- 2020 個展『いのちのかけら』ギャラリーレタラ(札幌)
- 2019 道銀文化財団 企画展 ■CUBE■2019 水のもり 上嶋秀俊展
- 2018 個展『見えない水を探して』上嶋秀俊展 ギャラリーミヤシタ(札幌)

【主なグループ展】

- 2023 びょういんあーと ぶろじえくと展 札幌文化芸術交流センターSCARTS(札幌)
New Point vol.20 さいとうギャラリー(札幌 2010年より参加)
- 2022 第2回朝里川桜咲く現代アート展 (小樽 2021年より参加)
- 2021 舞踏と美術 小樽晩夏光 (市立小樽美術館)
- 2020 札幌ミュージアム・アート・フェア 2020-21 (札幌芸術の森美術館)
- 2019 小樽・美術家の現在シリーズテーマ展『風土』(市立小樽美術館)
つながろう2019 終わりと始まり(札幌駅前通地下歩行空間 2016年より参加)
- 2018 韓国 Art Gwangju 18 国際アートフェア出展 (韓国)
- 2017 500m 美術館 vol.22『北の脈々-North Line2-』(札幌大通地下ギャラリー500m 美術館)
ハルカヤマ芸術要塞 2017 ファイナル・カット(2011年より参加)
- 2015 第18回セルヴェイラ国際アート ビエンナーレ (ポルトガル)
- 2014 Our Place〜歩く・感じる・考える、私たちの生きる場所 (本郷新記念札幌彫刻美術館)

いのちのかけら 2019-2020年

